

1 平成29年度に実施した自校の学力調査結果(単位:%)

教科	観 点	墨田区学習状況調査										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	75.6	79.0 81.0	65.6	56.5 71.8	68.1	71.5 68.3	65.6	66.2 76.4	65.6	55.1 70.6		31.9 41.7
		話す力・聞く力	71.0	73.6 75.3	63.0	65.3 67.8	71.1	72.1 70.6	75.0	83.3 87.4	60.0	58.8 67.6	56.5
	書く力		78.1	81.3 84.8	65.6	46.4 74.3	61.4	68.7 62.3	58.5	52.4 70.2	67.3	50.0 70.0	60.9
		読む力	66.4	74.5 69.6	64.3	63.0 70.9	63.9	64.1 68.9	73.4	71.6 79.7	72.2	78.0 78.3	68.1
	言語についての 知識・理解・技能		90.0	95.7 95.7	80.9	82.0 89.1	67.4	68.7 72.8	68.4	61.3 72.9	69.2	68.2 74.9	70.4
社会		社会的事象への 関心・意欲・態度					64.5	57.8 62.9	66.0	65.7 68.5	64.2	51.6 68.5	
	社会的な 思考・判断・表現					63.7	61.2 65.5	65.2	58.4 68.4	65.0	52.7 67.7		
	観察・資料活用 の技能					71.3	66.9 75.1	67.9	59.8 69.0	69.4	59.3 72.2		
	社会的事象につ いての知識・理解					76.4	73.5 78.6	70.2	66.7 71.8	68.3	52.4 70.9		
算数	算数への 関心・意欲・態度	65.6	61.0 66.5	56.5	44.0 58.2	67.5	69.3 71.0	59.3	57.1 62.8	40.0	30.3 37.2		
		数学的な考え方	70.7	68.8 72.5	63.9	60.5 68.6	60.6	65.2 66.1	60.2	53.4 63.8	56.1	45.6 56.1	
	数量や図形に ついての技能		82.5	86.3 86.2	76.9	72.4 80.0	76.1	77.8 79.8	71.4	60.0 74.2	71.0	54.9 71.7	67.9
		数量や図形につ いての知識・理解	83.1	82.7 84.6	69.8	58.8 75.6	74.0	78.8 77.0	70.3	61.3 72.6	68.6	51.4 69.9	70.2
理科	自然事象への関 心・意欲・態度					67.7	64.2 73.0	61.1	51.3 66.3	70.4	65.4 77.2		
	科学的な思考 ・表現					58.4	59.4 62.5	54.8	41.0 56.3	62.6	53.9 67.7		
	観察・実験の 技能					64.4	61.0 66.5	71.3	75.0 79.3	60.0	50.2 64.4		
	自然事象につ いての知識・理解					67.2	63.1 71.5	66.3	60.3 70.7	68.2	60.2 73.1		

1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したものである。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として換算している。

2 自校における調査結果の分析

<p>◇よい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科「話す・聞く力」と「読む力」において、昨年度は2つの学年が目標値を上回っていたが、今年度はすべての学年が目標値を上回っているか同程度である。特に「読む力」は大きく伸びており、本校で行っている読書活動の成果が表れていると考えられる。 ・算数科「数量や図形についての技能」において、低・中学年の正答率が目標値に近付き、上回っている学年もある。年間4回行っている計算コンテストにより、整数の四則計算の技能が定着していると考えられる。 ・授業のユニバーサルデザイン化を進め、ICTを活用して学習内容の視覚化を効果的に行っていることで、昨年度より全般的に正答率が伸びている。 <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科「書く力」の正答率が2学年で目標値を超えたが、目標値を大きく下回った学年もあった。 ・算数科において学年が上がるほど目標値との差が開いている。 <p>◎改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科を中心に各教科で書く活動を取り入れ、書くことに慣れさせる。 ・算数科において、文章や数値、図形・グラフなどの資料から読み取った情報を基に考え、文章に書いたり、話し合ったりする学習活動を充実させる。
